

ふるさと野菜のおすそ分け 通信 vol.112 2013年11月7日号

すっかり秋も深まり、朝夕は寒さで体を動かしたくないような日々です。猫も犬も暖かいところで寝ている姿を見ると、こちらまでコタツに入りっぱなしで、これから雪が降ってくる季節を思いやられてしまいます。台風も秋の収穫前に冷や冷やとさせられましたが、冬の美味しいお野菜の成長はどうなりますでしょうか。こちらもすでに今から鍋料理三昧だと真冬には飽きてしまうのではと思いますが、やっぱり食べたくなるメニューですね。

京丹波町長瀬地区



サルたちも寒い冬に備えて活発になってきています。寒い地方で雪降る中で温泉につかっているサルたちの姿には癒されますが、こちらも寒い冬に備えて収穫待ちのお野菜を大事に育てていますので、この辺りではサルとの戦いは熾烈です。争奪戦を繰り広げ、知恵比べでも負けてしまう程ですが、野生のサル達の賢さは見事と敵ながらも天晴れというくらいです。

美味しいお野菜を丁寧に育てながら、おサル様にはお願いだから人間の食べる分は散らかさないで置いておいて下さいと願うばかりですね。大昔はサルたちの害をどうしていたのでしょうか？木の実などができる木々を人間の身

勝手に切り崩されてきたために餌がなくなって獣害被害が深刻になっていると聞きますが、子供を抱いてあやしている姿の可愛いサルたちに癒されるような、田舎の生活の共存が出来たらいいですね。

京丹波町西河内地区





すっかり冬の準備です。お野菜たちも綺麗な白菜、ネギなど組み合わせを想像しただけでも美味しそうなメニューが次々浮かびます。真冬になるとお野菜の収穫が難しい場所です。今の間に新鮮で美味しいお野菜を一杯食べておきたいですね。働き者のおじいちゃん、おばあちゃん達は冬本番までせつせと働き続けます。来年の畑の計画もそろそろ立てられていらっしゃるのでしょうか。

南丹市・美山町大野地区



27日に行われた「第4回 仁清まつり」の様子です。可愛らしい野々村仁清さんの人形が飾られました。今風に「にんさま」とはこのあたりじゃすっかりアイドルとなっているのですね。素晴らしい仁清

さんの作品をもっと知って欲しいと、このような祭りも毎年行われていますが、若い方に陶芸の世界、お茶の世界、または芸術の世界は身近に感じてもらえているのでしょうか？この太鼓も伝統ある文化ですが、体感して何かを感じ取ってもらえる機会も必要だと思います。お祭りは楽しくて地域を味わえる、いいきっかけになりますね。

京丹波町高岡地区



田んぼアートなるものがありますが、意図的に何かをやるというのも芸術作品で素晴らしいのですが、普通に当たり前に昔から営まれている作業の光景もアートなのではと思える風景があります。

丁度良いくらいの感覚に干された稲穂を束ねて置いてあるだけでも、世界ではきっとやり方が違うでしょう。

日本のこの丁寧な作業の一つをみると、何故日本の農業が素晴らしいのかと感覚で分かります。

神社の奉納された鳥居は御礼の印だと聞いたことがあります。

この稲荷神社の鳥居をみると、伏見大社の有名な

鳥居とまではいかないまでも、きっと叶えられて喜ばれているご利益多そうな神社だと分かりますね。

南丹市殿田・木住・生畑・中世木地区



田舎の風景は景色が自然一杯だと、どこを切り取っても絵になりますね。こんな稲刈り後の干している所をみると、生まれる前からあった光景なのだろうと、ふと時代が分からなくなってしまう。

このあたりもまだまだ変わらぬ風景を楽しめるところです。

世代も変わり、農業という仕事の価値観も変わってきている中、残していきたいものと、残っていくもの、消えていく物の差が激しくなっている時代ですね。

ご参加・ご意見・お問い合わせは下記まで ふるさと野菜のおすす分け事務局

〒621-0242 京都府亀岡宮前町神前上長野2 (有)篠ファーム内 **購入参加者 11/6 現在 82名**

TEL0771-26-0811 FAX0771-26-0822 e-mail info@shinofarm.jp

ふるさと野菜のおすす分け通信は右記のホームページでもご覧いただけます。 <http://www.shinofarm.jp/furusato.htm>